

平成28年度 大阪府立摂津支援学校 第2回 学校協議会 実施報告

- 1 日 時 平成28年11月7日(月) 午前10時00分～12時00分
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 出席者 <学校協議会委員>
西野 陽一 (大阪工業大学)
大矢 優子 (摂津市教育委員会委員長)
福光 徒紫美 ((株)ダイキンサンライズ摂津)
増山 克己 (茨木・摂津障害者就業・生活支援センター)
水眞 龍次 (柱本自治会)
宮脇 千恵 (本校PTA)
<摂津支援学校>
校長 教頭 事務長 首席 部主事 教務部長 研究研修部長 計9名

<傍聴者> 1名 (本校保護者)
- 4 年間テーマ及び協議事項 『知的障がい支援学校としての本校の現状と課題について』
- 5 主な内容 ①本校教員研修の取組みについて
②校外学習・宿泊学習の取組みを、各学部から報告(小・中・高)
③学校教育自己診断の実施について
④授業アンケートの報告
- 6 説明・質問・協議内容等
(1) はじめに〔進行：首席〕
 - 配付資料の説明(高等部2年生職業コース生徒が接客を担当)
 - 校長あいさつ
 - ・開校後4年目に入り、少しずつ課題も出てきているので、委員の方からも忌憚のない意見をいただきたい。
 - ・“ほんまもん”を積極的に活用してわかる授業の展開をし、自分で理解し行動できる子どもを育てていきたい。
- (2) 学校より報告および協議〔進行：委員長〕
 - ①本校教員研修の取組みについて
 - (ア)本校教員研修の取組みについて(研究・研修部長)
 - ・資料③にもとづき、今年度の実施状況や昨年度からの変更点などを報告。
 - * 委員)公開授業について、反省を踏まえて改善したのはよい。実際にはどのくらい見学者が増えたか? → 学校)正確な数字ではないが、昨年度に比べて約3倍になった。「行きたい」と思っても忙しいという状況になりやすい中、事前アンケートをとることで見学への意識は高まったと言える。
 - * 委員)初任者がベテランの授業を見る機会はあるか? → 学校)この公開授業で見学できる。また、今年度は10年研対象者の授業を初任者が見学に行くという研修があった。今年度各学部の初任者は、小学部5名、中学部2名、高等部2名である。
 - * 委員長)授業見学は、公開週間に限らずいつでも見に行けるのが望ましい。見学を依頼されて拒否をする教員はいないと思うので、必要に応じて見合える環境を作ってほしい。
 - * 委員)公開授業をフィードバックするものはあるか? → 学校)見学メモ(よかった点、改善すべき点を記したもの)を出してもらっている。また、指導案を通じて、サブ教員が主担者へフィードバックする方法を現在検討中である。
校長)話し合いは時間と場所の共有が必要だが、紙ベースであれば自分の裁量時間の中でできる。初めは、プラス評価のフィードバックが多いかもしれないが、子どものためを思う気持ちはどの教員も熱いので、徐々に改善点を指摘し合えるようになって考えている。できるところからでもやっていきたい。
 - * 委員)若い先生が年配の先生の授業を見た時に意見を言える機会はあるか? → 校長)

面談などの際に校長に訴える人もいる。校長室は1：1になれる場所なので、意見をいいやすい。若い世代は大学で「特別支援教育」を学んできている。この学校では、「正しいと思うこと」をするための訴えが出てくるので、正義を感じる。

- * 委員) 授業研究はされているか? → 学校) 特に設定はされていない。初任者の授業は外部講師の川戸先生に見ていただいている。それをベテランでしてもよいのではという反省も出ている。

②各学部より校外学習・宿泊学習の取組みについて報告(各学部主事)

(ア) 小学部よりスライドで写真を提示しながら説明

- ・修学旅行で1泊2日、公共交通機関を使って移動し、活動を楽しむというのが最終目標。そのために、4・5年生での宿泊学習や各学年での校外学習で、少しずつ社会経験を積み上げていけるように計画している。
- ・低学年は、安全に校外で過ごす、集団で活動するための基礎づくり。そこから、外食経験(レストラン、フードコート)や交通機関の利用(乗車マナーや切符の購入)を、その時の目的に応じて組み入れている。
- ・行事の前には、事前学習としてスケジュール確認や模擬体験、ルールの確認などをして、子どもたちが見通しを持って参加できるようにもしている。

(イ) 中学部よりスライドで写真を提示しながら説明

- ・校外学習について・・・1年生は地域から入学する子どもも加わるので「みんなで仲よくなる」というのが第一。小学校生活の中で、集団行動に慣れていない子どももいる。2年生は、1年生で培ったことの上積み。今年は外食をした。乾皮症の生徒もいるので、室内を行き先とした。3年生は、修学旅行を見据えて、モノレールの利用や、買い物学習を行った。集合写真も学年を追うごとに撮れるようになる。
- ・泊行事について・・・1年生は「みんなで泊まる」、2年生は「みんなでチャレンジする」ということが主。3年生は修学旅行として、2泊3日の行程で食文化を中心に広島、香川、淡路島と各地でさまざまな体験をした。
- ・その他、中学部の取組みとして、今年の夏に「ハッピー摂津まつり」を開催した。これは、夏休みに家庭でお手伝いをしてコインを貯め、それを使って参加できるというもの。また、高等部から茨木支援へ進学する生徒もいるので、本校の中3と茨木支援の中学部全体での交流を行っている。
- ・日々の授業もちろん大切だが、行事の大切さも感じている。行事を通して見ると、子どもの伸びしろがわかりやすい。

(ウ) 高等部よりスライドで写真を提示しながら説明

- ・今年度の校外行事について、職場見学も含めて、時系列で報告。
- ・1年生の校外学習では「クラスづくり」を大切にしている。3年生の修学旅行では、アイデンティティの確立とあるが、卒業して社会に出た後で、学生時代の楽しかった思い出が力になることもあると考えている。「ほんもの」の相撲観戦、1日中楽しんだディズニーランド、お台場の見学など、仲間との思い出をつくってほしい。

- * 委員) こういう全体計画を作って取組んでいるのはよい。

- * 委員) 報告を聞いて、子どもたちの成長がよくわかった。小学部の保護者に中・高の姿を示せたらいい。

- * 委員) ほんまものの体験という話が冒頭にあったが、これらの取組みがまさにそのものだということがわかった。目的をもって、段階を追って取組んでいることがわかった。また、先生が楽しんでいる姿というのは子どもたちにも伝わるので大切なことだと思う。

- * 委員) 小学部でもお土産を買ったりしていたが、修学旅行の小遣いのきまりや、お金の管理はどうなっているのか? → 学校) 必要な時に財布を手渡すようし、大人の見守りの中でお金のやりとりの経験をしている。

③学校教育自己診断の実施について(首席)

- ・実施要項を提示し、保護者用、生徒用、児童生徒用、教職員用それぞれの診断票について、説明した。質問項目は経年変化を検証するためにも、昨年度と変更していない。

- * 委員) 教職員用のPTA活動に関する項目を、昨年度の結果報告でも反省にあったとおり、「参加している」を「協力している」に変更してはどうか。 → 学校) 変更する。

- * 委員) 経年変化を見ることも大切なので、項目が変わらないのはよい。

④授業アンケートの報告（教頭）

- ・ 魅力的な授業、わかる授業をめざして取組んでおり、その一環で授業アンケートを実施している。回収枚数は学年によって差があるのが現状。詳しくは、次回の協議会で後期の方も合わせて報告する。概ね4点満点で、4点に近い評価をいただいている。
- * 委員) アンケートの回収枚数が少ないのは参観の人数が少ないからか？忙しい人が多いのか？ → 学校) 忙しいというのに加え、不便な場所というのも影響しているだろう。
- * 委員) 自身は参観に行っているが、中・高は参観者が少ない。仲のよい保護者グループがある学年は比較的来ている。一番の要因は不便さにあると感じている。PTAでも、保護者同士の交流が持ちにくいことが悩みである。

⑤その他（全体を通して）

- * 委員) 進路の進捗状況などがわかる機会があれば嬉しい。今日の報告を受けて、羨ましいくらい色々な行事をしていると感じた。

(3) まとめ〔進行：首席〕

- ・ 委員長) 進行へのご協力ありがとうございました。学校からの報告では、資料の準備等ありがとうございました。協議委員も行事や協議会への参加だけでなく、できるだけ学校の動きに普段から関わっていただけたらと思う。
- ・ 校長) 今日の協議を受けて、うまい授業の公開方法や、いつでも授業見学ができるということをどう教員に意識付けていくかを考えていきたい。また、今回評価いただいた校外学習・泊行事の全体計画については学校 web へアップすることも検討したい。

(4) 事務局より諸連絡

- ・ 次回学校協議会は2月上旬に開催予定。日程は後日調整。

7 配付資料

- ①②次第・学校協議会名簿 ③本校教員研修の取組みについての資料
- ④各学部 校外学習・泊行事資料 ⑤学校教育自己診断資料